

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【公表番号】特表2015-508780(P2015-508780A)

【公表日】平成27年3月23日(2015.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-019

【出願番号】特願2014-557870(P2014-557870)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)
A 6 1 K	38/43	(2006.01)
A 6 1 K	9/72	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	31/16	
A 6 1 K	37/48	
A 6 1 K	9/72	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 P	11/00	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月19日(2016.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

免疫不全患者のパラインフルエンザ又はインフルエンザ感染を低減又は処置するため前に記述された前記患者の気道に投与される医薬製造のための組成物の使用であって、前記組成物が治療有効量のタンパク質を含み、前記タンパク質が配列番号1又は2を含むことを特徴とする使用。

【請求項2】

前記免疫不全患者には、原発性免疫不全症を患っている患者が含まれる、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記免疫不全患者には、続発性免疫不全症を患っている患者が含まれる、請求項1に記載の使用。

【請求項4】

前記免疫不全患者には、免疫抑制療法で処置されている又はされたことがある患者が含まれる、請求項1に記載の使用。

【請求項5】

前記免疫不全患者には、化学療法剤で処置されている又はされたことがある患者が含まれる、請求項1に記載の使用。

【請求項6】

前記投与が、鼻腔スプレーの使用によるものである、請求項1に記載の使用。

【請求項7】

前記投与が、吸入器の使用によるものである、請求項1に記載の使用。

【請求項8】

前記投与が、ネブライザー、気化器、気管内チューブ、鼻腔スプレー、ドライパウダー吸入器、加圧噴霧式定量吸入器、又は呼吸作動式加圧噴霧式定量吸入器によるものである、請求項1に記載の使用。

【請求項9】

前記組成物が液体の形態である、請求項1に記載の使用。

【請求項10】

前記組成物がドライパウダーの形態である、請求項1に記載の使用。